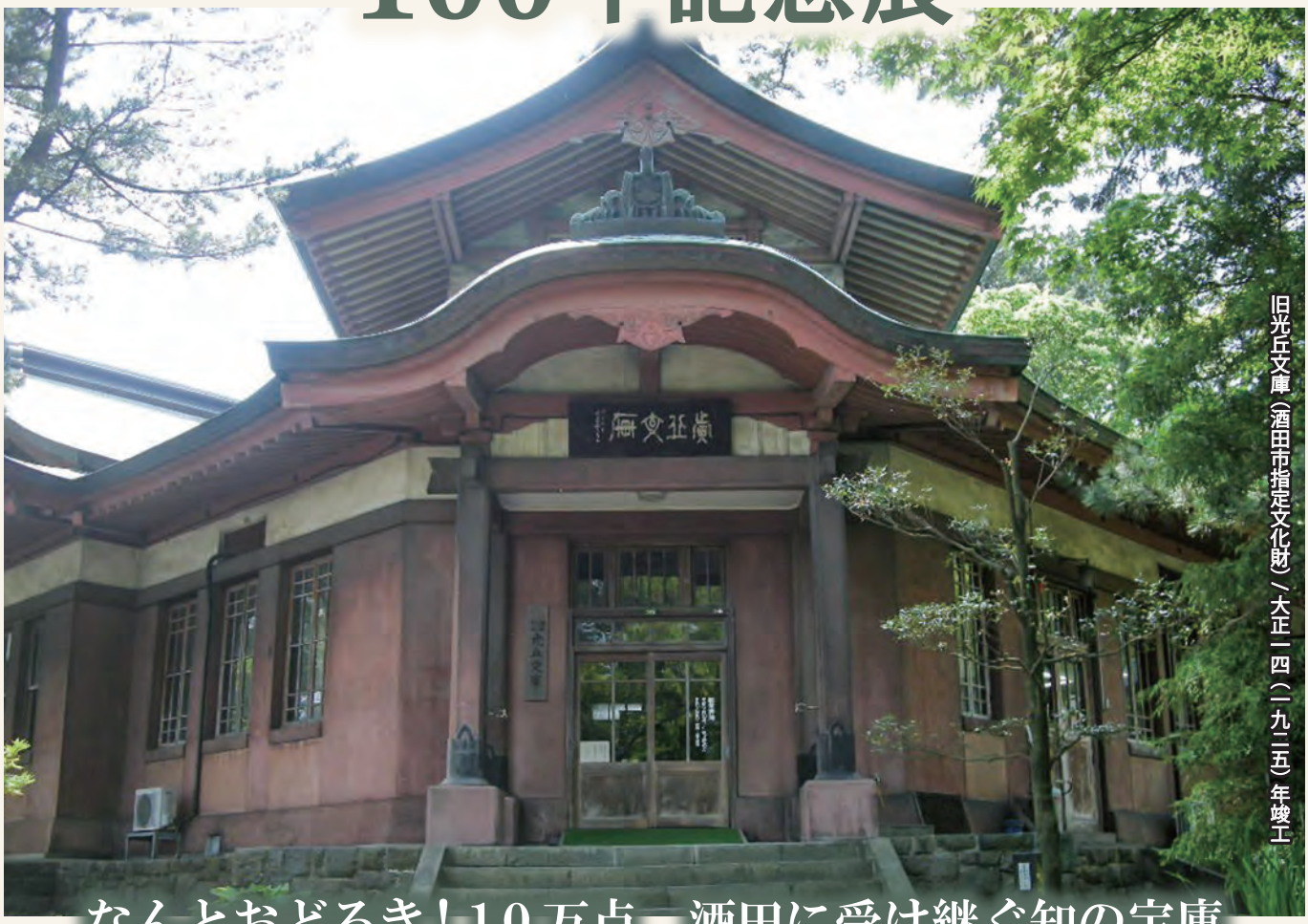
第６回企画展

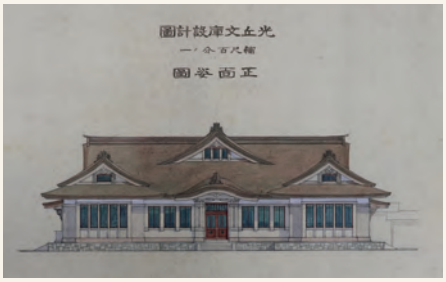
光丘文庫
100年記念展



旧光丘文庫（酒田市指定文化財）／大正一四（一九二五）年竣工

なんとおどろき！10万点　酒田に受け継ぐ知の宝庫

光丘神社及光丘文庫配置図 / 大正13（1924）年



光丘文庫建築設計図（酒田市指定文化財）/ 大正時代

光丘文庫書庫 / 年代不明

令和７年 4月19日（土）▶8月24日（日）

◆午前９時～午後４時３０分（最終入館は４時まで）　◆休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）

※期間中、一部資料の入れ替えがございます。 入館無料

酒田市文化資料館光丘（こうきゅう）文庫
（酒田市総合文化センター内）

〒998-0034　山形県酒田市中央西町２番59号
TEL：0234-22-0551　FAX：0234-22-0612
mail：bunkashiryoukan@city.sakata.yamagata.jp

第６回企画展

光丘文庫100年記念展

郷社光丘神社 / 大正13（1924）年創建

本間光丘翁頌徳会関係資料 / 大正時代

建設作業のようす / 大正14（1925）年

光丘文庫上棟式 / 大正14（1925）年

光丘文庫関係資料 / 大正～昭和

図書館内の様子 / 昭和 55（1980）年

大正 14（1925）年に財団法人光丘文庫が開館してから、今年で100年を迎えます。

酒田の豪商本間家三代目当主の光丘（享保17/1732～享和1/1801）は、街道の難所「五丁野」に旅人を助ける寺院を設置し、そこを修学のための文庫を兼ねた場とすることを志しました。しかし幕府が寺院建立を禁止していたことから、実現することはありませんでした。

大正 10（1921）年、本間光丘翁頌徳会が光丘の数々の功績を称え光丘神社を建立しました。本間家八代目当主光弥は、光丘の奨学の遺志を受け継ぎ、返礼として文庫建設及び維持資金10万円と、先祖伝来の蔵書約２万冊を寄贈しました。このことを契機に頌徳会は「財団法人光丘文庫」を立ち上げ、大正14（1925）年に光丘文庫が開館しました。以来、有志による寄贈図書なども加わり、一般の書籍や郷土資料、貴重な古典籍など、広範な分野の資料を所蔵する図書館として、市民や全国の研究者に利用されてきました。

現在は光丘文庫の事業は酒田市に引き継がれ、書籍や資料は当館の所蔵となっています。展示を通し、光丘文庫の歴史や設立期の資料、貴重な蔵書などをご紹介します。

国書や漢籍、昭和の雑誌など、貴重な蔵書をご紹介します

展示期間中の関連企画

５月…光丘ゆかりのまち歩き
６月…旧光丘文庫建物見学
７月…記念講演会
８月…担当調査員による
　　ギャラリートーク

詳細が決まり次第、市ホームページなどでお知らせします。

【交通のご案内】

- JR 羽越線酒田駅より徒歩約 14 分
- 日本海東北自動車道　酒田 IC より車で約 12 分

酒田市文化資料館光丘文庫

〒998-0034　山形県酒田市中央西町２番 59 号
（酒田市総合文化センター内）
TEL : 0234-22-0551　FAX : 0234-22-0612
mail : bunkashiryoukan@city.sakata.yamagata.jp